Let's enjoy the Mt.Tsukuba area Geopark

筑波山地域 ジオパークを楽しもう!

見方を楽しみ、景色を楽しみ、食を楽しむ

7,500万年から今へ、ジオでなぞ解き体験!

筑波山は、昔から「西の富士、東の筑波」と称され、朝夕に山肌の色を変えるところから「紫峰」とも呼ばれ、その姿は茨城では多くの校歌にも歌われ、私たちの日常風景として親しまれ続けています。この筑波山を中心に、霞ヶ浦湖畔や平野までを含めたエリア一帯は、「筑波山地域ジオパーク」として日本ジオパークのひとつに2016年9月に認定されました。平野を含むジオパークは珍しく、広大な関東平野と筑波山の成り立ちを知ることで、自分が暮らす地域への理解や愛着を再認識できるだけでなく、自然災害について考えるきっかけになることも期待されています。地質に造詣が深く、筑波山地域ジオパーク推進協議会の顧問として認定獲得にも尽力された小玉喜三郎さんに「ジオの魅力と楽しみ方」について教えていただきました。

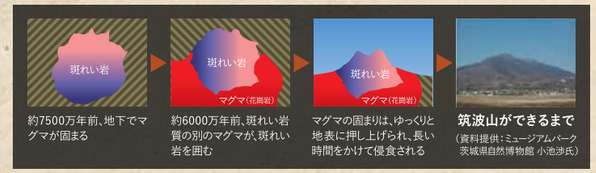
筑波山地域ジオパーク

謎1 「筑波山はどのようにできたのか」

じつは筑波山は、火山ではありません。恐竜が暮らしていた時代に地中で固まったマグマが、地殻変動によって少しずつ地上に隆起することで誕生しました。平野のなかにぽこっと山がある、あの特徴的な姿から、ふもとの平野一帯が大昔は海だったことが読み取れます。子どもの頃初めて筑波山を見た時に「松島みたいだな」と感じ、「周りは海だったのでは」と考えたものです。そこから地形に興味を持つようになり、土地の成り立ちの見方を知るということの楽しさに気付きました。

ジオパークにとって大切なのは、そこにある自然環境や歴史、文化はもちろん、魅力的なストーリーを持っていること。モノではなく、コトづくりのきっかけを提供できる場所であることなのです。まず大地があって、そこに適した植物が生え、やがて動物が棲むようになり、私たち人間の暮らしが生まれた。自分の暮らす地域の成り立ちが、太古から繋がっているということに気付くと、そこからたくさんのストーリーが広がっていきます。

美しい景色を写真で眺めるのもいいですが、その場に行かなければ観ることのできないアングルがあります。そして、そこで感じたこと、出会った人、味わったもの、すべてがジオ体験になります。発見の楽しさや知る喜びを、ぜひ筑波山地域ジオパークで味わってくださいね。



小玉先生おすすめのジオスポット「崎浜のカキ化石床」

霞ヶ浦北岸の古墳群のある場所で観察できるカキの化石床は、筑波山地域ジオパークの特色がよく表れているジオスポット。カキは海中の浅瀬に殻を縦にした状態で生息するため、立ったカキの化石が密集しているということは、ここが大昔は海だったという証拠です。12万年前の砂に触れ、ジオの不思議をその目で確かめてみてください!

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
特別顧問・名誉リサーチャー
筑波山地域ジオパーク推進協議会 顧問
小玉 喜三郎さん

認定ジオガイド 高田正澄さん
ツクバハコネサンショウウオや沢山の希少動植物が生きている環境に触れてみませんか。

認定ジオガイド 田上公恵さん
氷河期の生き残りであるブナ林や万葉の時代へご案内します。

謎を解き明かそう! 認定ジオガイドの案内で筑波山初体験!

ジオガイドは、ジオパークのストーリーをより楽しませてくれる、まさに「昔と今の時空を超える」案内人です。ジオパークならではの魅力に触れ、興味と理解を深められるようにと、豊富な知識で様々な角度からナビゲートしてくれます。

認定ジオガイドの田上公恵さんと高田正澄さんに案内していただいたのは、男体山の山頂周辺のエリア。筑波山へ上ったことのある人でも意外に知らない様々な見所があり、地球温暖化の進み具合や絶滅危惧種であるツクバハコネサンショウウオの存在、7,500万年前の筑波山の姿を体感できる驚きが待っています。さらに、関東平野を望む絶景も満喫!

遠くから眺める筑波山も素晴らしいですが、ぜひ現地を訪れて、ジオの不思議に五感で触れる楽しさを味わってください。事前に申し込めば、ジオガイドによる案内も受けられます。

謎2 「紫峰杉はなぜ、曲がりくねっているのか」

御幸ヶ原から1分ほど歩いた場所にある「紫峰杉」は、筑波山の宝物のひとつ。高さ約40m、幹周り約7mの巨木で、苔むした幹と曲がりくねった枝は屋久杉を思わせる風貌です。山頂への上昇気流によって霧が立ち込め、強い風を受けるためにこのような姿になりました。厳しい環境の中で修行場として神事のために植えられ800年生き抜いた、生命力の強さに心を打たれます。

謎3 「男女川源流の一滴、この水はどこへ行くのか」

紫峰杉の傍に流れるのは「男女川(みなのがわ)」の源流です。陽成天皇が詠んだ百人一首の句『筑波嶺の峰より落つる男女川 恋ぞつもりて淵となりぬる』は、細い流れがやがて深い淵となるように思いが深まるという恋の詩。淵とは、霞ヶ浦を指しています。男女川は桜川を経て関東の水がめである霞ヶ浦へ流れ込み、私たちの命を守る貴重な水源となっているのです。

謎4 「筑波山麓のお米やお酒がおいしいのはなぜか」

筑波山の峰から湧き出た男女川の源流や周辺からの湧き水は、花崗岩によって構成された粘土質の土壌を通り、ミネラルを含んだ伏流水となって山麓へと広がります。この豊かな水が、ブランド米として知られる「北条米」に代表されるおいしいお米を育て、味わい深い日本酒を育み、地場の醸造業を盛んにしていったのです。

謎5 「なぜ、山頂付近にだけブナ林が残っているのか」

約2万年前の氷河期には筑波山地一帯にブナが生えていましたが、現在は標高500メートル以上のエリアに約7,000本が生育。しかも高齢化が進み健康な種を付ける木が少なく、若い木が育っていません。これは温暖化の影響とも考えられ、氷河期の生き残りであるブナ林を守るため、茨城県や市民団体などによって調査や保全活動がおこなわれています。

謎6 「7,500万年前のマグマの動きが見える?」

男体山頂へ向かう途中の自然研究路の入口近くにある大きな岩は「立身石」と呼ばれています。ここに刻まれた縞模様は、7,500万年前のマグマの挙動を表すもの。どろどろに溶けたマグマに含まれた重さの違う鉱物が、層になって固まった様子を観察することができます。また、立身石の背後にある展望台の足もとの岩肌に残る川のような跡にも、マグマの挙動が残されています。ちなみに、女体山がその名のとおり女性のような白い肌をしているのは、同じ斑れい岩でも白っぽい斜長石が多く含まれているからです。

筑波山梅林は筑波石と人が植えた梅の奇跡のコラボ

筑波山の中腹にある筑波山梅林は、4.5ヘクタールと、東京ドームと同じ広さを誇ります。1,000本の梅の木の中には、1本の木に紅白の花をつける「思いのまま」という品種や、花弁が薄緑に見える珍しい品種もあり、毎年枝を剪定して横向きの枝を伸ばすことで這うような形に整えているそう。ちなみに、剪定された枝は細かくして木の根元に撒くことで再利用しています。

水戸の偕楽園のように平地で梅を眺めるのではなく、梅を見下ろして鑑賞できるのは、山肌の斜面にある筑波山梅林ならでは。また、庭石のように点在する筑波石によって、可憐な梅と黒い岩石が印象的なコントラストをみせる光景も大きな魅力のひとつ。

認定ジオガイドの田中牧子さんと金田玄一さんに、ジオパーク的観点から楽しむ筑波山梅林と、梅まつりの見どころについて案内していただきました。

認定ジオガイド　田中牧子さん
つくり手の愛とアイディアが込められたジオ認定商品、ぜひ味わってください。

謎1「筑波山梅林の大きな石は誰が運んだのか」

梅林の中に点在している大きな岩は、筑波石と呼ばれる斑れい岩。筑波石は庭石として人気があり、かつては関東一円に出荷されていました。しかし、この梅林に置かれた石は人が運んだものではありません。上のほうに行くと、大きな筑波石がゴロゴロと転がっていて、100年に一度起こるかどうかと言われている土石流によって運ばれたものだとわかります。筑波山梅林は、自然の迫力を実感できる場所でもあるのです。

謎8「梅の幹についている白いコケの正体は？」

梅の幹を観察すると、表面に白いコケのようなものが生えているのがわかります。これは、地衣類という植物。空気のきれいな場所にしか生えないと言われ、環境のバロメーターになるものです。梅林の中でも低地エリアには生えていないので、高地ほど空気がきれいだということがわかります。深呼吸して空気の美味しさを味わってくださいね。

謎9「寒い山の中腹に、いち早く梅が咲くのはどうして」

筑波山梅林の中には、春を迎える前に梅が咲く場所があります。これは、斜面温暖帯という現象によって山の中腹がふもとより2～3℃暖かくなるため。斜面温暖帯は、放射冷却で冷やされた地表近くの空気が、斜面を下り降りて上空の暖かい空気を引き下ろすことによって起こります。筑波山でみかんが栽培できるのも同じ理由からなのです。

謎10「ボロボロ崩れる岩と硬い岩の違いは何か」

梅林から道路沿いを歩いていくと露出した花崗岩盤が観察でき、ところどころに岩脈（ペグマタイト）が走っているのが見えます。触ってみると、ボロボロと崩れる岩もあります。これは、真砂（まさ）化と呼ばれ、花崗岩が風化してもろくなった状態のこと。硬い斑れい岩が山頂に残り、中腹からふもとに基盤岩の花崗岩が分布していることで筑波山の独特の姿がつくられていることが改めてわかります。

認定ジオガイド　金田玄一さん
石の成り立ちを知ると筑波山梅林を見る目が変わってきませんか？ 興味をもたれたら地質標本館へもご案内します。

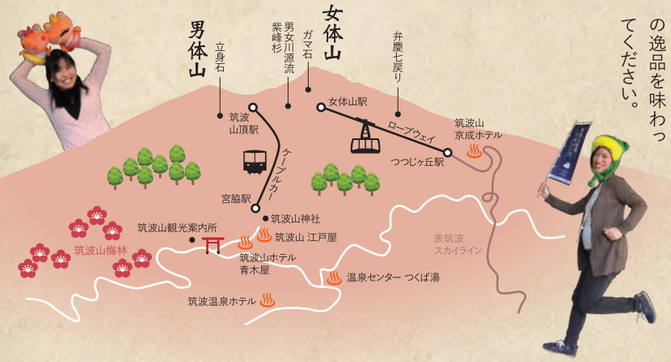
屏風絵巻の中に入り込んだような
「筑波山梅まつり」

満開の時期を迎えると、梅の花のじゅうたんを広げたような景色が楽しめる筑波山梅林。ホトトギスの鳴き声や伏流水のせせらぎの音も、春爛漫の美しい光景に花を添えてくれます。中でもおすすめの場所は、眼下に広がる梅林と関東平野が一望できる展望四阿。梅と筑波石が織りなす光景と、筑波山梅林ならではの趣きをゆっくり楽しんでください。

第46回 筑波山梅まつり
平成31年 2／16（土）～3／21（木）

土地の恵み、水の恵み、ストーリーから生まれた美味礼讃

筑波山地域ジオパーク内で採れた食材を使った商品や、地域内で製造された商品など、ジオパークのストーリーを表現できる商品を認定し、ジオパークのPRや地域活性につなげていく取り組み。お弁当やコロッケ、お酒など品目は多彩で、筑波山をデザインしたパッケージや、地元の野菜や果物など地場産品をふんだんに使っているのが特徴です。筑波山を愛する地元の人たちがそれぞれの思いをこめてつくった、この土地ならではの逸品を味わってください。



数分で山頂付近まで結ぶ
ケーブルカー＆ロープウェイ

筑波山観光鉄道㈱　TEL 029-866-0611

筑波山ホテル 青木屋〈パノラマ露天風呂「雲上の湯」が人気〉
つくば市筑波 753-1　TEL 029-866-0311

温泉センター つくば湯〈自然の中の露天風呂〉
つくば市筑波 64-9　TEL 029-866-2983

筑波温泉ホテル〈美肌をつくるアルカリ性単純温泉〉
つくば市筑波 395　TEL 029-866-0521

筑波山 江戸屋〈せせらぎの中の露天風呂〉
つくば市筑波 728　TEL 029-866-0321

つつじヶ丘から女体山頂へ
大駐車場脇のつつじヶ丘駅と女体山駅を結びます。全長1,296m、高低差 298m のスイス製ロープウェイ。毎秒 5m の速度、所要時間約6分で女体山駅へ運んでくれます。
始発9:20　終発17:00（土日は17:20）

筑波山神社から山頂へ
筑波山神社隣の宮脇駅から筑波山頂駅を結びます。全長 1,634m、高低差 495m を毎秒 3.6m、所要時間 8 分で一気に山頂駅の御幸ヶ原まで運行するわが国有数のケーブルカーです。始発9:20　終発16:40（土日は17:00）

筑波山温泉の中で一番の高台に建つ宿
筑波山京成ホテル

筑波山温泉「美肌の湯」で、疲れを癒すショートトリップ
筑波山中腹の筑波山温泉は、アルカリ性単純温泉で肌がすべすべになることから「美肌の湯」ともいわれています。日帰り入浴で小さな旅気分を味わってみませんか？

〒300-4352　茨城県つくば市筑波 1（ロープウェイまで徒歩1分）
TEL 029-866-0831　FAX 029-866-0847　E-mail：keisei@poppy.ocn.ne.jp

季節の御膳（時期により内容が異なります）

標高 550 メートルにある展望露天風呂は関東平野を望む絶景が楽しめます。

筑波山地域ジオパーク認定商品

筑波山ジオ ショコラテリーヌ　CAFE 日升庵
フランスでチョコレート専門のパティシエとして修業を積んだ外山さんが、筑波山をイメージして考案した焼き菓子。2色のチョコレートは、斑れい岩と花崗岩の白と黒を表現しています。小麦粉を混ぜずに作った生地を型に入れて焼き、山肌や地層を思わせるビジュアルにも工夫を。クランベリーなど5種類のドライフルーツを細かく刻んで潜ませ、口に入れて初めてその存在に気付く「発見の楽しさ」も加えました。

茨城の美味しいもの、いい場所を紹介するアンテナショップのようなカフェを目指しています。

お茶でも飲んでってね～。みよこさんと「みよこの七味」のネーミングや広報係の息子さんの渡辺伸一さん

みよこの七味　神橋亭
名産の福来（ふくれ）みかんで作った陳皮をブレンドした七味唐辛子。この辺りでは昔から各家庭で七味が作られていて、渡辺さんの七味も、おばあちゃんから伝わるブレンドで仕上げた「我が家の味」。天日干ししたみかんの皮を焙煎して手作りした陳皮の香りと、マイルドな辛さが評判です。生のみかん1キロからとれる皮は200グラム。その年に収穫したみかんの分しか作れない、売り切れ御免の人気商品です。

冷凍手打ちそば　めん工房 ほさか
ココムギ　森の石窯パン屋さん
丸大豆醤油・真壁　鈴木醸造 株式会社
ジオコロッケ　高橋肉店
つくばスタージョン キャビア・フィッシュミート　つくばチョウザメ産業
花の井 古代米のお酒　株式会社 西岡本店
おちぼ栗　洋風笠間菓子 グリュイエール
食べるあまざけ　株式会社 西岡本店
蕎麦めし　めん工房 ほさか
元祖 つくば餃子　鉄鍋餃子・石焼炒飯 龍神
つくばジオ弁当　レストラン エスポワール

ジオガイドと一緒に筑波山地域を歩いてみませんか？

いままで筑波山へ登っても、あまり意識しなかった地形や、疑問に思っていたことが分かってくるタイムトラベル感覚が味わえます。数千万年前からの成り立ちを解説してもらうことで、新しい興味が次々に湧いてくるはずです。ぜひジオツアーを体験してみませんか？

筑波山地域ジオパーク／認定商品／ジオツアーのお問合せ
筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局
つくば市研究学園一丁目１番地１　https://tsukuba-geopark.jp
ジオガイドによるご案内は希望日の2週間前までに事務局までご連絡ください。